

超小型モビリティ活用による実証事業の状況報告

(1) 貸与車両の運用状況・今後の計画

・ 5台の総走行距離 1862 km 安全講習受講者数 73名 (14/1/29 現在)

・ 各車両の運用状況

車両	貸与先	貸与期間	走行距離 (貸与先、協議会 利用分)	講習受 講者数	利用形態 今後の計画など
1号車	伊勢市役所	‘13/10/23 ~ ’14/10/27	830 km (160 km)	42名	・ 市内移動に利用 ・ 1月末に市職員全体へ講習 会開催
2号車	伊勢 商工会議所	‘13/10/23 ~ ’14/4/27	449 km (98 km)	14名	・ 会議所会員企業に対する 展示会 / 試乗会
3号車	伊勢市 観光協会	‘13/12/13 ¹ ~ ’14/5/12	186 km (75 km)	5名	・ 今後イベント等で活用
4号車	三重交通	‘13/11/6 ~ ’14/2/5	209 km (88 km)	8名	・ 営業所から内宮、外宮へ の移動に利用
5号車	伊勢戸田家 (伊勢 旅館組合)	‘13/11/12 ~ ’14/2/11	188 km (114 km)	4名	・ 取引先への移動

1 東京モーターショー展示などにより12月からの貸し出し。

4号車、5号車の2月以降の活用については、現在の貸与先および、今後の貸与希望先と調整し決定する。

・ 点検状況

日次点検：利用日の夕刻に点検を実施

週次点検：利用回数5回、または100km程度走行毎に車両下回りを含めて点検を実施

日次点検、週次点検実施しているが、車両に異常は発生していません。

(2) イベントでの展示活動等での活用状況・今後の計画(協議会活用以外も含む)

実施日	場所	イベント	内容
9月30日 伊勢市役所		超小型モビリティ 貸与式	N T Nより伊勢市への車両貸与式を実施
10月10日 外宮前三角広場		超小型モビリティ お披露目会・試乗会	協議会後に三角広場にて車両展示 / 試乗会
10月13日 県営サンアリーナ		伊勢市環境フェア	協議会のシンボルマーク等の発表 超小型モビリティ・E V等の展示・試乗
10月23日 伊勢市役所, 伊勢商工会議所		車両納車 その後、展示会・試乗会	伊勢市役所, 伊勢商工会議所、車両展示・ 試乗会
10月24日 伊勢市内		市内試走 (N T N)	市街地走行での安全性を確認
10月27日 桑名市民会館		くわな環境フェスタ	超小型モビリティの展示 / 試乗会
11月1日 伊勢商工会議所		展示会 / 試乗会	伊勢商工会議所会員企業対象に、車両展 示 / 試乗会を開催
11月3日 高柳商店街		商店街でのイベント展示	商店街と明野高校の連携事業
11月12日 伊勢市内		雑誌「GENROQ」取材	2014年1月号に掲載 「お伊勢参りはE Vで」
11月9、10日 外宮前		「伊勢楽市」展示会	超小型モビリティ等のE Vの展示
11月18日 伊勢市吹上1-7-7		N T N伊勢駐在事務所 開設	N T N駐在員事務所を伊勢市駅、宇治山 田駅近くの吹上(キリン第6ビル)に開設
11月21日 河崎地区など		観光コース試乗会 (第1回)	観光部会：河崎、二軒茶屋、松尾観音、 桜木地蔵などの観光モデルコースでの試 乗会を実施
11月23日～ 12月1日 東京ビッグサイト		東京モーターショー	N T Nブースに出展し、伊勢市協議会で の取り組みをP R
12月1日 メッセウイング三重 (津市)		みえ環境フェア	超小型モビリティ等のE V等の展示 伊勢市役所 - メッセウイング三重間(約 40km)を充電容量約80%で自走移 動(往路：イベント前日、復路：終了後)

実施日	場所	イベント	内容
12月7,8日	伊勢市内	お伊勢さんマラソン	車両の展示(7日)/マラソン先導車(10kmコース)として利用
12月8日	伊勢市役所他	三重テレビ取材	12月10日放映
12月17日	二見地区	観光コース試乗会 (第2回、二見ルート)	観光部会：二見地区の夫婦岩、太江寺、伊勢安土桃山文化村などの観光モデルコースでの試乗会を実施
1月14日	伊勢・小俣地区	観光コース試乗会 (第3回、西ルート)	観光部会：「柳の渡し・桜の渡しコース」での観光モデルコースでの試乗会を実施
1月24日	市役所，観光協会， 浦之橋商店街	EV・PHEV REPORT 取材	全国EV・PHVタウンの年間報告雑誌・EV・PHVタウン以外で3か所を特集する上で伊勢地区が採用された

計画

実施日	場所	イベント	内容
2月14日	三重県工業研究所 (津市)	電動・電装部品研究会 (三重県工業研究所主催)	インホイールモータ搭載超小型モビリティの取り組みの紹介および車両展示・試乗会を実施予定。協議会の取組も紹介。三重県内企業の開発担当者30~50名が参加の見込み
2月16日	津市~伊勢市	美し国三重市町対抗駅伝	三重テレビ中継カメラマン車両として、超小型モビリティ2台利用予定
2月~	伊勢市内 (観光コース)	観光コース利用の試乗会・観光モニタ、試乗会 含めた普及活動	観光コース試乗会を今後計画

(3) 実証事業により得られた超小型モビリティ利用の感想、意見

[利用ニーズ]

- ・細い小道で静かに自然環境を楽しみながらエコ観光に適している（爽快にすいすいと回れる気軽なモビリティ。開放性を活かして季節を楽しめる周遊コースも設定できる）
- ・伊勢ならではの古道の歴史・自然を再発見できる（EVエコ観光モデルコースに）。外宮・内宮間（バス移動、渋滞エリア）以外の通勤・通学ならでの伊勢参り周遊により公共交通機関（鉄道バス）との連動・相乗効果が図れる（低炭素環境対応と渋滞解消）
- ・商店街・商業施設拠点とも連動し商店街活性化や徒歩・自転車との連動を図れる。
- ・近くの駐車場拠点で短時間・短距離のチョイ乗のニーズに対応したシェアリング利用方を考えて欲しい。まずは乗って自ら体感したい（購入するかどうかは価格含めその後）
- ・量産車と異なる、通勤・通学ならでの個性的・オリジナルデザインであればおもしろい。

地元コミュニティのニーズにあった、デザイン含め地産地消費型（アフタサービス含）につながる。

- ・小道の軒先まで移動・送迎可能なので、低床の利点を活かして後部を車椅子乗入れができる高齢者福祉ダイケア用車両として利用できないか。
- ・小路の観光モデルコース周遊は、音声でのGPSガイダンスが便利（運転中でも観光歴史の見所案内とルート案内（駐車場所や安全運転注意事項含め）ができるようにして欲しい）

[車両(空間設計)]

- ・加速がよいため、車線流入でもストレスがない。
- ・観光事業・送迎など車内空間が広いので3人乗りが便利。
運転席2人座席・後部荷物スペースや4人乗りでもよいのではないか。
- ・プラットフォームを共通化し、後部荷物スペースや後部開閉等用途に応じ（送迎観光・買物・業務、配送宅配、高齢者等）便利な可変式ボディ（ドア含め）にできないか。

[開放性]

- ・気候がよければ開放感、自然との爽快感があつてよい。
静かで自然環境を楽しみながらエコ観光に適している。
観光モデルコースで連なって回遊する楽しみ、オリジナルデザイン・開放車両（乗降性簡易）であることも気軽に地元とのコミュニケーション（地元の「おもてなし」）がとりやすい利点がある。室内の前後部座席間のコミュニケーションがとりやすい。
- ・駐車場・荷物管理（落下防止含め）の工夫が必要。
- ・天候によって風雨・防寒・猛暑対策の工夫が必要。
幌開閉より便利な方策があればよい。